

# 同志社大学

## 2014年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2015年 3月 19日提出

所 属	職 名	氏 名
アメリカ研究所	助教	山口航
研 究 題 目	新冷戦期における日米安全保障関係の変容——深化と拡大	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本研究では、外交史研究において先端の分野である新冷戦期（1979-81年）の日米安全保障関係に関して、①米国の対日政策決定過程、②日本の対米政策決定過程、③日米の外交交渉過程ならびに相互作用を解明し、アメリカ外交史と日本外交史の接続をはかってきた。その際、軍事的安全保障と、非軍事的安全保障の双方の分野、およびその関係を対象とした。具体的な成果は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 刊行物<ul style="list-style-type: none"><li>・山口航「新冷戦初期における紛争周辺国への援助——戦略援助の『発見』と『擬装』」『国際安全保障』第42巻2号（2014年）。</li></ul></li><li>2. 学会／研究会報告<ul style="list-style-type: none"><li>・ Wataru Yamaguchi, “The Shift in U.S.-Japan Cooperation at the Beginning of the Second Cold War,” The Society for Historians of American Foreign Relations (SHAFR) Annual Meeting at the Hyatt Regency Lexington, Kentucky, June 2014.</li><li>・ 山口航「総合安全保障の受容」国際政治学会年次大会 2014年11月16日 於福岡国際会議場。</li></ul></li><li>3. 教育活動<ul style="list-style-type: none"><li>・ 京都造形芸術大学 講義担当「政治学B」（後期）。</li></ul></li><li>4. その他<ul style="list-style-type: none"><li>・ 松下幸之助記念財団 研究助成（人文科学・社会科学領域）「新冷戦期の日米安全保障関係の変容——狭義の安全保障面の機能的深化と広義の安全保障面への分野的拡大」（2014年10月～2015年9月）。</li><li>・ 学外研究活動：一般財団法人 平和・安全保障研究所 第3期日米パートナーシップ・プログラム（奨学プログラム通算第17期）奨学生（2014年7月～2016年7月）。</li><li>・ 学会活動：国際安全保障学会 総務委員補佐。</li></ul></li></ol>	